



# 楽々亭通信

第 11 号  
令和3年7月1日号

発行:NPO法人没イチの会・京都

## 6月の楽々亭も

### 開催出来ませんでした

『仏様が、「ほっとけ様」  
になっけていませんか?』

本願寺派布教使  
安堂芳雅

先日、高校時代の恩師  
から、「お仏壇をみに来  
てほしい」と電話があ  
り、お宅に伺いました。

挨拶もそこそこに、  
「こつち、こつち」と手  
招きされるまま、奥座敷  
のお仏壇前に座って合  
掌礼拝し、お扉に手をか  
けた時です。

先生が、「気を付けや、  
気を付けや」と、すーっ  
と後ろに退られました。

案の定、ギウウギウウ  
詰めのエレベーター扉  
が開いたように、物が雪  
崩落ちてきました。



お飾りに必要な「花瓶  
(かひん)」「蠟燭立て」

「香炉」などのお道具だ  
けではありません。写真  
や位牌、湯呑みや「重要書  
類」と書かれたファイル  
等々…。全部を取り出し  
て並べますと、たたみ一  
畳が埋まりました。

そしてようやく、一番  
奥に安置(あんち)されて  
いた、ご本尊が現れたの  
です。

「先生、お仏壇が「物  
置」か「金庫」になってま  
す。」と言うと、「物置とか  
金庫やったら年に一回は  
開ける。」とかえってきま  
した。

いくつになっても生徒  
は生徒、先生にはかない  
ません。

○皆さんのおうちには、  
お仏壇がありますか?

「私の家では、まだ亡く  
なった人がないから、お仏  
壇はないんです。」

「本家にはありますが、  
ウチは分家だからありま  
せん。」

時には、「何もないのに  
お仏壇をかうと、死人が出  
るじゃあないですか。」と  
真顔でおっしゃいます。

「お仏壇は、死者をまつる  
ところ」で、そのお世話は  
家を継いだ者の役目だと  
思っておられるようです。

しかし、お仏壇は死者  
(ご先祖)をおまつりする  
ところではなく、文字通  
り、「仏」さまを安置する  
「壇(場所)」です。

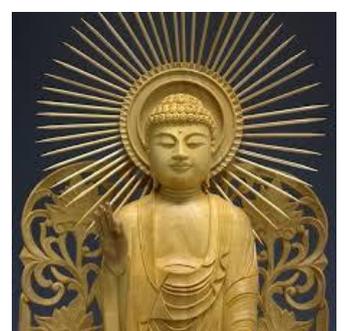
騒々しい生活の中、些細  
なことにこだわり、悩み、  
自分を見失いがちです。こ  
んな時だからこそ、お仏壇

の前に心静かに座って、仏  
さまと対話してみても下さ  
い。仏さまはしっかりと抱  
きとめて、決して崩れるこ  
とのない安らぎを与えて  
くださいます。

また、お仏壇は心の鏡で  
す。

整理(不要なものは取り  
除く)、整頓(仏具は定め  
られた位置に置く)を心が  
けてください。

※今月は長くなりました  
ので、仏さまのおすがた  
の特徴はありません。



妙心寺東林院  
沙羅双樹の花

## 松竹のプロデューサーとして

### その3

岸恵子も、八千草薫、山本陽子も

松竹の映画部門をすべて任せ、  
「良いも悪いも一切君の責任でやってくれ」と松竹の会長から言い渡された昭和の終わりに、

単身赴任の小生にとって本当に心細く、マンションのベランダから隅田川を眺めながら、この大きな会社の切り盛りをどの様にしたら良いのか全く見当がつかず、京都へ逃げ帰ってやろうかという思いも有りませんでした。

しかし担当してから三日目に岸恵子がフランスから電話を掛けてきました。「櫻井さん、私日本に帰ろうと思っっているの、イブと別れたの、帰ったら連絡しますので会っていただけます」という事でした。

私には早々に映画、テレビの一年分の予定表を作らねばならない作業がありました。私が押

さえていた小説に、五木寛之原作ものがあり、それを岸恵子に相手役に芦田伸介を組ませ、監督に女性を描かせばる1の吉村公三郎（安城家の舞踏会の監督）を頭の中に、直ちに構想が出来上がり、岸恵子に早くパリから帰ってくるように電話をしました。その一週間後、羽田に着きましたと電話があり、直ちに会うことにしました。

横浜に近い山の上の岸恵子の自宅で会いました。その一週間後、八千草薫さんから電話があり、宝塚を円満に退団したので宜しくおねがいしますとの事、直ちに八千草薫とも会いしました。その日はもう一人の女性と一緒に。その人は山本陽子さんでした。

同じ事務所になりましたので宜しくとの事、山本陽子さんとは私は以前から親しかったので一緒に来たようでした。

直ちに手持ちの企画を松山善三氏に依頼、☎を取り半月の間に順調に企画が並びました。この様な形で1年分の並びができますと俳優も信用し、安心して

付き合うようになったのです。仕事も段々と面白くなってきましたという事です。その後どうなっていくのかは次回で……

櫻井洋三



### ことばの花束より

シエクスピア

程々に愛しなさい。長続きする恋は、そうゆう恋だよ。

シエクスピア  
君、時というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで、走るものだよ

モーム

恋人として男と女が違う点は、女は一日中恋愛をしてられるが、男は時々しかできないということである。

ルソー

男性は知っていることを言うが、女性は人を喜ばせることを言う。

ラ・フォンテーヌ

黙っているやつは物騒だ。騒ぎ立てる奴はそうでもない。

### 楽々亭 第11回 7月の予定

7月20日(火)

西京区役所洛西支所会議室

午前10時～12時

4月に開催した場所です。

表玄関口から入って下さい。

### 楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。